

平成28年
4月から

ごみの出し方・日程変更

ペットボトルや飲料用かんは町が配布する専用のネットに入れて出すなど、4月からごみの出し方に変更がありますので、ご注意ください。また、ごみ分別区分の変更説明会を全6回開催します。

日程の変更について

	現在	4月から
ごみ出し時間	8:30まで	8:00まで
水曜日	容器包装プラ	容器包装プラ・ペットボトル
隔週	びん・ペットボトル	びん・容器包装以外プラ

(隔週とは…Bコースは木曜日 Aコースは金曜日のこと)

ごみの出し方について

	現在	4月から
飲料用かん	コンテナ	ネット
飲料用以外のかん	コンテナ	透明・半透明の袋
ペットボトル	透明の袋	ネット
びん	コンテナ	透明・半透明の袋
スプレー缶	穴をあけて出す	穴あけ不要
乾電池、水銀体温計	乾電池袋へ一緒に出す 集積所の利用者で	乾電池袋で別々に出す
不燃ごみ	用意した容器	透明・半透明の袋

ごみ分別区分の変更説明会

日程	時間	場所
1/15(金)	19:00～	中央公民館
1/17(日)	15:00～	中央公民館
1/21(木)	19:00～	竹間沢公民館
1/24(日)	15:00～	竹間沢公民館
1/27(水)	19:00～	藤久保公民館
1/31(日)	15:00～	藤久保公民館

※予約不要。直接会場にお越しください。

ネットは3/26、3/27に集積所に配布予定です。4月から利用してください。



至誠は息む無し

一万回の祈り

新年、明けましておめでとう
ございます。輝かしい平成
二十八年の新春を健やかに迎えのこ
とと心からお慶び申し上げます。

昨年は住民、各団体の皆様が、今
まで地道に取り組んでこられた努力が
花開き実を結んだ二年でした。

三芳町消防団が消防庁長官から表
彰旗の授与、広報みよしが内閣総理
大臣賞を受賞し日本一に、藤久保第三
区自主防災会が防災担当大臣から功
労表彰、三芳町川越いも振興会が農
林水産祭むらづくり部門での天皇杯
の受賞など、うれしいニュースが相次
ぎました。

特に、三芳町川越いも振興会の天皇
杯受賞は、農林水産業者最高の栄誉と
されており、三芳町の今後の明るい未
来を感じさせてくれる出来事でした。
経営の神様と呼ばれた松下幸之助

さんは、「何か大事をなそうと思いつ
いたら、一万回の祈りを捧げることが
大切だ」と言われていたそうです。
祈るといふことは考えることです。

ずつとそのことを考え続ける。一日に
一回だけ考えていたら一万回で三十年
かかります。三回思ったら十年、一日
に十回なら三年になります。石の上に
も三年といいますが、そこまで考え続
けると、ある時ヒョッと兆しが現れて
くるといえます。

三富新田は、今から三百二十年前
に開拓されました。『富』という村名
に込められた開拓者達の祈り。それ
を営々と継承してきた代々の農家の
皆さん。この三百年間に何人の人
がどれだけの祈りを捧げてきたこと
でしょうか。一万回、十萬回、百万回、
一千万回、一億回…。その祈りが、天
皇杯につながったのだと思います。



四書五経『中庸』には次のように
あります。

『至誠は息む無し。息まざれば則ち
久しく、久しければ則ち微あり。微
あれば則ち悠遠なり。』(誠の心、本気
の心を持って、休むことなく久しく続
ければ、ある時、その兆しが現れてく
る。そうすれば遙か遠くまで広がって
いく。)

『祈り』は、『至誠』です。
『至誠は息む無し』

私も、今年一年、先人たちの『至誠』
を受け継ぎ、息むことなく、町づくり
に励んでまいりたいと思います。
皆様方の益々のご健勝と、ご多幸
をお祈りし、年頭のごあいさつといたし
ます。

miyoshi
お知らせ
news

藤久保地域の未来を創ろう ～藤久保公共施設ワークショップ～

藤久保地域の公共施設の未来図を、住民の皆さんが意見や知恵を出し、考える『ワークショップ』開催

藤久保小学校と図書
館が一緒になったら、
たくさんの本が読めて
うれしいな!



藤久保地域の公共施
設(*)の多くは、
昭和50年代に建設され、
各施設の在り方を考える
時期にきています。町の
厳しい財政状況の中、
幅広い世代の視点で、
知恵を出し合い、み
んなで一緒に藤久保
地域拠点となる施設
の未来図を描いてみ
ませんか。

(*)藤久保小学校、藤久保公民館、保健センター、中央図書館、藤久保児童館など

日時 1月24日(日)、2月28日(日)
10:00～12:30(両日とも)

場所 藤久保公民館

参加者
募集

町内在住・在勤・在学者
申し込みは1月14日(木)まで

- ▶応募方法…①町ホームページから用紙をダウンロードし、メール・郵送・FAX・持参。②政策推進室、各出張所、各公民館、図書館に備え付けの応募用紙に記入し、郵送・FAX・持参。
- ③担当課に直接電話
- ▶定員…50人程度。応募多数の場合は抽選。

※参加者には薄謝有。



ワークショップとは

思いやアイデアを語り、議論を通じて新しい発見をした
り、新しい何かを作り出していく中で提案や意見をまとめ
ていく方法です。



11月23日に明治神宮で開催された農林水産祭のあと、受け取った天皇杯と表彰状と共に三芳町川越いも振興会の皆さんと。